

## From Ibigawa S A B O

今年の梅雨入りは少し先ようですが、揖斐川町においては、最高気温が30℃に達する真夏日も記録されています。出水期を控えたこの時期、揖斐川連合総合水防演習・広域連携防災訓練が開催され、当事務所もサテライト会場（旧久瀬小中学校グランド）にて土砂災害防止に向けた防災訓練を行いました。

### 地域と連携して水防演習を実施

揖斐川連合総合水防演習・広域連携防災訓練が、5月24日に開催されました。揖斐川町ではサテライト会場として



分解型遠隔操作式重機の操作  
(左上:操作時の拡大写真)

大型台風及び大雨による土砂災害の危険を想定し、国土交通省、岐阜県、揖斐川町、消防、警察等の防災関係機関に加え、地域の皆さまにも参加頂いて訓練を行いました。

当事務所を含めた国土交通省は、主に防災ヘリによる土砂災害調査、分解型遠隔操作式重機の操作を行い、また展示ブースにおいては模型等を用いて、土砂災害の状況やその対策について、来場者へ説明を行いました。会場には多くの来場者が詰め掛け、皆さまに土砂災害や災害時における避難の重要性を伝えることが出来ました。



展示ブースにはお子さんの姿も

### 小・中学校の防災教育に協力します

本巢市の校長会が、5月18日に本巢市糸貫分庁舎内で開かれました。議事の中でお時間をいただき、当事務所及び中部建設青年会議岐阜支部から、当方の広報活動の取組として、防災に関する学習会や現場見学会を実施している事をお伝えしました。

当事務所からは伊藤事務所長が出席して「小学校・中学校の総合学習や職場体験に積極的に協力させていただきます。」と呼びかけをさせていただきました。



伊藤所長から校長先生方へ呼びかけ

### 色とどりのバラの香りに包まれて

揖斐川町近隣の犬野町と神戸町はバラの産地です。犬野町では5月8日から29日まで、神戸町では5月16日にバラ祭りが開催されています。

西洋のイメージが強いバラですが、品種改良に使われた原種の中には、日本で古くから自生している種もあり、万葉集の歌にも登場しています。



犬野町のバラ公園

### 昭和40年(1965)災害 / 『奥越豪雨』 ⑦

#### 【根尾川筋】

堰堤や道路が決壊し、橋も押し流された。

9月15日の集中豪雨は根尾村《現本巢市》にも大きな被害をもたらした。能郷白山（権現山）を中心とする水源山地では1,000mmを越す局地的な豪雨を記録したが、その影響により根尾白谷では大崩壊が発生、土石流があふれ、村内の各地区で被害を引き起こした。

根尾村史によると、『能郷谷では堰堤が決壊し、沈積した土砂が一処に流れ出し、付近の田をことごとく埋没して、上原橋の橋脚をへし折り、下流の水田も流没させた。大河原の谷でも至る所で山津波が起き、物凄い土砂が流出して、道路や林が流出する被害を被った。

一方、八谷区では、馬坂峠付近の山が半分ほど地すべりを起こし、その土砂は流木と共に小倉地内まで谷いっぱいに流積した。北部一帯のこうした大洪水が一つになり、大井の永久橋（大門橋）を押し流し、更に水鳥橋も押し流し、根尾川流域27町歩の田畑を埋没並びに流失させるという、未曾有の大被害を与えた。

伊勢湾台風の災害に続いてのこの大被害は、奥地住民に大きなショックと不安を与え、大河原を始め越波・黒津・大須などの住民が、故郷を離れて村外へ転出する大きなきっかけの一つになったとさえ言われている』と記されている。

<つづく>



流失寸前の門脇大橋《現 本巢市根尾門脇》

出典：越美山系災害史（原文）

《 》はクマタカ通信転載にあたっての補足箇所  
発行：越美山系砂防工事事務所 平成10年10月



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。  
また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしております。

発行 国土交通省中部地方整備局  
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所  
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3  
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626  
E-mail: [ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp](mailto:ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp)